連絡先:国土交通省自動車局 審査・リコール課

リコール監理室

電話番号:03-5253-8111 内線:42354

国土交通省 ホームページアドレス: http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成25年5月29日

リコール届出番号	3160	リコール開始	台日	平成25年	平成25年5月29日	
	日立建機株式会社問·問·		問合せ先	引合せ先:株式会社日立建機カミーノ		
届出者の氏名又は名称	代表執行役			品質保証セン	タ	
	執行役社長 辻本	雄一	Tel	: 0237-48-	-2640	
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置、制動装置(電磁弁)					
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ロード・ローラーに搭述の固定方法が不適切る場合がある。そのである。そのである。のではのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	はため、コイルモー まの状態で使用で で短絡するため電 電磁弁は3個搭載で が発生する。 分が作動しなくなった。 はなくながた動しなくなった。 電磁弁が作動しないで になる。 になる。 になる。 においる。 においるに、 にはなる。	-ルドがるとう という という という という という という という ほり はい	行中の機械振動、コイルモールド、が切れて電磁チ、作動しなくなるを動しなくなるで中立状態にする。 をで中立状態にする。 を行中・停止中を通であるため①	加によって磨耗すの磨耗が進行し の磨耗が進行し 計が作動しなくな 電磁弁により以 なくなる。 ることができなく 問わず駐車ブ	
改善措置の内容	全車両、電磁弁の保護カバーに配線を固定し、油圧変速機に配線固定ブラケットを 増設して配線コネクタを固定する。また、電磁弁のコイルモールドと保護カバー間 にシリコンシーラントを塗布する。					
不具合件数	①1件、②0件、③	3)5件	事故 <i>0</i>	有無	無し	
発見の動機	市場からの情報によ	る。				
自動車使用者及び自動車 分解整備事業者に周知さ せるための措置	・使用者へ直接電話、 ・自動車分解整備事業 めの 措置はとらない ・対策完了車についる	業者への連絡は、 ⁽ ⁽ 。	使用者を全	≧て把握している		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び 製作期間	リコール対象車 の台数	備	考
ダイナパック	CS125	「CS125」	125-0101 ~ 125-1323 平成11年8月19日 ~ 平成16年8月30日	223台		
ダイナパック	SB-CS125	「CS125」	125-2324 ~ 125-2441 平成14年10月5日 ~ 平成20年9月20日	112台		
住友	SB-M12B0	「HM125H」	125-2382 ~ 125-2429 平成18年10月31日 ~ 平成20年4月11日	6台		
日立	KDN-CS125	「CS125-3」	125-3101 ~ 125-3181 平成21年8月4日 ~ 平成24年11月24日	75台		
住友	KDN-M12B2	「HM125H−2」	125-3118 ~ 125-3176 平成22年6月21日 ~ 平成24年9月28日	5台		
	(計5型式)	(計4車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成11年8月19日 ~ 平成24年11月24日			